

痛風・高尿酸血症で

# フェブキソスタット錠/OD錠「サワイ」を 服用される患者さんへ

— 医師または薬剤師のみなさまへ —

本指導箋は、「**痛風、高尿酸血症**」の治療を目的に  
フェブキソスタット錠/OD錠「サワイ」を処方された  
患者さんにお渡しください。

## 用法及び用量

〈痛風、高尿酸血症〉

通常、成人にはフェブキソスタットとして1日10mgより開始し、1日1回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常1日1回40mgで、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は1日1回60mgとする。

## 用法及び用量に関連する注意

〈痛風、高尿酸血症〉

尿酸降下薬による治療初期には、血中尿酸値の急激な低下により痛風関節炎（痛風発作）が誘発されることがあるので、本剤の投与は10mg 1日1回から開始し、投与開始から2週間以降に20mg 1日1回、投与開始から6週間以降に40mg 1日1回投与とするなど、徐々に増量すること。なお、増量後は経過を十分に観察すること。

服薬指導にあたっては、最新の電子化された添付文書をご確認ください。

沢井製薬株式会社



(01)14987080276118

専用アプリ「添文ナビ」で読み取ることで、  
電子化された添付文書を閲覧できます。

痛風・高尿酸血症で

# フェブキソスタット錠 / OD錠「サワイ」を 服用される患者さんへ

体の中で尿酸をつくる酵素の働きをおさえ、血液中の尿酸の濃度（尿酸値）を下げるお薬です。

**このお薬は、少量から服用を開始し、徐々に量を増やしていきます**

痛風発作は、尿酸値が高いときだけではなく、お薬を飲み始めて尿酸値が急激に下がったときにも起こりやすくなります。

このお薬を飲み始めるときは、尿酸値をゆっくり下げるために、少量から開始して徐々に量を増やしていきます。

ご自身の判断でお薬の量を変更したり、服用を中止したりせず、**医師の指示どおりに、決められた量の服用を続けましょう。**

## ▶ お薬の増やし方の例



## OD錠の飲み方

OD錠は口の中で溶けるため、水なしでも服用できます。ただし、寝たままの状態では水なしで服用しないようにしてください。

普通のお薬と同じように水で服用することもできます。どちらの飲み方でも、効きめは変わりません。

痛風や高尿酸血症の治療は、継続することが大切です。  
医師の指示どおりに定期的に受診し、根気よく治療を続けましょう。

ウラ面もお読みください

## 痛風発作が起こっても、お薬はそのまま飲み続けましょう

お薬を飲んでいても、痛風発作が起こることがあります。

痛風発作が起こっているときに、尿酸値を下げるお薬の服用を急にやめると、かえって発作がひどくなる場合があります。

このお薬を服用中に痛風発作が起こっても、**ご自身の判断でお薬の量を変更したり、服用を中止したりせず、そのまま飲み続けてください。**痛風発作の症状によっては、関節の炎症や痛みをおさえるお薬が処方されます。発作が起こった場合は医師の診察を受けましょう。

### 次にあてはまる方は

#### 服用前に必ず医師または薬剤師に相談してください

- これまでに、お薬を使用して発疹やかゆみなどのアレルギー症状ほっしんがあらわれたことがある
- メルカプトプリン水和物またはアザチオプリンを服用している
- 現在、他に使用しているお薬(薬局・薬店で買ったお薬を含む)などがある
- 肝臓や腎臓の病気がある
- 妊娠中または妊娠の可能性がある、授乳中である

### その他、服用中は次のようなことに気をつけてください

- ◎ 飲み忘れた場合は、気がついたときにできるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の服用時間が近い場合は、忘れた分は飲まないで1回分とばしてください。決して2回分を一度に飲まないでください。
- ◎ 次のような症状があらわれた場合は、服用をやめて、すぐに医師の診察を受けてください。
  - ・全身のだるさ、食欲低下、皮膚や白目が黄色くなるなど
  - ・全身の皮疹や発疹など

このほかにも気になる症状やわからないことがある場合は  
医師または薬剤師に相談してください。

**sawai**

